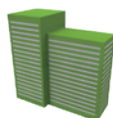




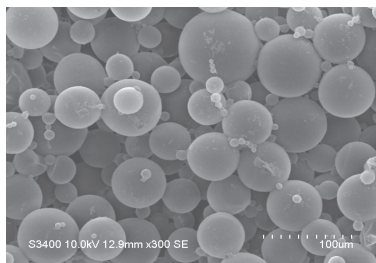
ソフトリカバルーン

Soft recoballoon



断熱工法

断熱性能



ソフトリカバルーンは高い弾性を持ち、割れにくい特殊中空バルーンを使用しております。

写真のような特殊中空バルーン配合によって、効率的に断熱層を形成し、室温が外気の影響を受けにくくなります。

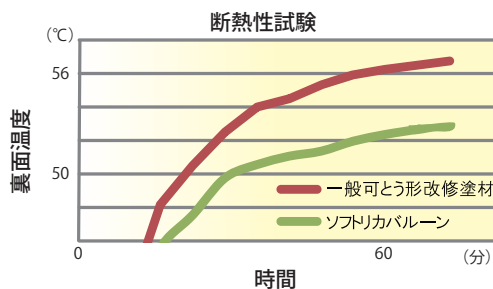
熱伝導率は0.19W/(m・K)

(他素材の熱伝導率
ALC : 0.17W/(m・K)。アクリル塗膜 : 0.33W/(m・K)。普通コンクリート : 1.6W/(m・K)。

断熱性試験

試験方法

ソフトリカバルーンと一般可とう形改修塗材を塗布したスレート板に、それぞれ50cmの距離から赤外線ランプ(100V125W)を照射し、裏面の温度を測定しました。注) ソフトリカバルーンの塗付量は1kg/㎡(厚み1mm)とした。



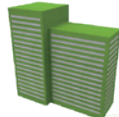
時間が経過するに伴い、スレートの裏面温度の差が大きくなっています。つまり、ソフトリカバルーンを施工すると、断熱層が形成されるため、スレート表面の上昇変化を抑えることがわかります。

<断熱工法>

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量	
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とします。					
主材塗り	多孔質ローラー塗り	ソフトリカバルーン 主材：12kg 清水：0.4～0.65L	多孔質ローラー	1～3	16以上 工程内5以上	12～24㎡/12kg 0.5～1.0kg/㎡
	吹付け	ソフトリカバルーン 主材：12kg 清水：0.4～0.65L	リシガン 口径：4～6mm 吹圧：0.5～0.6MPa	1～3	16以上 工程内5以上	12～24㎡/12kg 0.5～1.0kg/㎡
上塗り※	水系ファインコートシリコン 主材：16kg 清水：0.8～1.6L	ウールローラー はけ等	2	工程内5以上	45～64㎡/16kg 0.25～0.36kg/㎡	

※ その他適合上塗材に関しては、最寄りの支店・営業所にお問い合わせ下さい。

- (注) 1. 施工用具・条件は代表的なものです。
 2. 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
 3. 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。
 4. 塗付量は刷毛又はローラー施工の場合で所要量の80～90%、吹き付け施工の場合で所要量の60～70%を目安して下さい。
 5. 断熱性能は塗付量により異なります。一般の断熱材よりも厚みが薄いため簡易断熱となります。室内の断熱性を十分に確保する用途には向いていませんのでご注意ください。
 6. 吸込みのある下地には「キクスイ プライマー スーパーE」を塗付してから施工して下さい。
 7. 厚塗りを行う場合は十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。主材が未乾燥な状態で上塗りを施工すると膨れの原因になります。



断熱 + 高日射反射工法

ヒートアイランド対策

ヒートアイランドとは、特に都市部が高温になる現象です。高温により住民の生活や健康にも影響を及ぼす可能性があり、対策を行わなければいけない問題のひとつです。人口の集まる地域ではヒートアイランド現象が起こる可能性があります。

『ソフトリカバルーン』、高日射反射塗料『アドマクールペイント』は『環境省 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減技術)』でも実証されたエコ製品です。



環境省
環境技術
実証事業

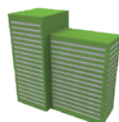
実証番号: 051-0858

アドマクールペイント、ソフトリカバルーンの性能に関する情報は、環境技術実証モデル事業のウェブサイト (<http://www.env.go.jp/policy/etv/>)でも入手することができます。

環境実証事業の名前やロゴマークの使用は、この技術やその性能に関して、環境省等による保証・認証・許可等を謳うものではありません。

環境省 環境技術実証事業では、

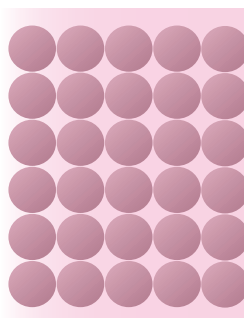
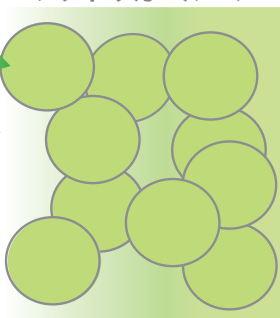
- 1) 先進的環境技術であること
- 2) 環境保全効果があることを実証した製品にはETV(=Environmental Technology Verification) マークを承認しております。



断熱 + 遮熱

ソフトリカバルーン アドマクールペイント

ソフトリカバルーン内部に存在する特殊中空バルーンにより熱伝導率が下がり、外からの熱が室内に入りにくくなります。



アドマクールペイントは、一般の日射反射塗料とは違い極めてシャープな粒度分布を持つ特殊遮熱顔料を使用しているため、効果的に太陽の輻射エネルギーを反射します。

<断熱+遮熱工法>

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量	
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とします。					
主材塗り	多孔質ローラー塗り	ソフトリカバルーン 主材: 12kg 清水: 0.4 ~ 0.65L	多孔質ローラー	1 ~ 3	16 以上 工程内 5 以上	12 ~ 24 m ² / 12kg 0.5 ~ 1.0kg/ m ²
	吹付け	ソフトリカバルーン 主材: 12kg 清水: 0.4 ~ 0.65L	リシガン 口径: 4~6mm 吹圧: 0.5 ~ 0.6MPa	1 ~ 3	16 以上 工程内 5 以上	12 ~ 24 m ² / 12kg 0.5 ~ 1.0kg/ m ²
上塗り※	アドマクールペイント	主材: 16kg 清水: 0.8 ~ 1.6L	ウールローラー エアレススプレー はけ等	2	工程内 3 以上	40 ~ 45 m ² / 16kg 0.35 ~ 0.40kg/ m ²
	水系ファインコートシリコン遮熱	主材: 16kg 清水: 0.8 ~ 1.6L	ウールローラー エアレススプレー はけ等	2	工程内 5 以上	45 ~ 64 m ² / 16kg 0.25 ~ 0.36kg/ m ²

※ 日射反射率塗料は「アドマクールペイント」「水系ファインコートシリコン遮熱」の他に「リフレクールペイント(基準色4色)」もございます。

※ 「アドマクールペイント」「リフレクールペイント」の光沢は半艶、「水系ファインコートシリコン遮熱」は艶有です。

※ 「アドマクールペイント」の屋根仕様は、別途ございます。

- (注) 1. 施工用具・条件は代表的なものです。
 2. 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
 3. 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。
 4. 塗付量は刷毛又はローラー施工の場合で所要量の80~90%、吹き付け施工の場合で所要量の60~70%を目安に下さい。
 5. 断熱性能は塗付量により異なります。一般の断熱材よりも厚みが薄いため簡易断熱となります。室内の断熱性を十分に確保する用途には向いていませんのでご注意下さい。
 6. 吸込みのある下地には「キクスイプライマースーパーE」を塗付してから施工して下さい。
 7. 厚塗りを行う場合は十分に乾燥させてから次の工程に移ってください。主材が未乾燥な状態で上塗りを施工すると膨れの原因になります。

荷姿

<主材>ソフトリカバルーン NET 12kg/ 缶

<上塗り>水系ファインコートシリコン NET 16kg/ 缶
アドマクールペイント NET 16kg/ 缶
水系ファインコートシリコン遮熱 NET 16kg/ 缶



注意点

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書、注意事項を守って施工してください。
※上記の各種製品データは、[kikusuiダウンロードサイト](#) (『キクスイダウンロードサイト』を検索) でご確認ください。



菊水化学工業株式会社

本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
☎052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎ 022-706-5710
東京支店 ☎ 03-3981-2500
名古屋支店 ☎ 0568-69-5200

関西支店 ☎ 06-7668-5320
福岡支店 ☎ 092-935-4610